



Cisco Webex Control Hub を介してクライアントの設定

- [Cisco Webex Control Hub](#) でのクライアントの一括設定 (1 ページ)
- チーム メッセージング モードのユーザのコールのセットアップ (2 ページ)
- チーム メッセージング モードを使用して Jabber ユーザを有効にし、個々の Jabber の呼び出しを有効にする (3 ページ)
- [Cisco Webex Control Hub](#) でアップグレード プロファイルを作成する (4 ページ)
- [Cisco Webex Control Hub](#) を使用した Jabber 構成ファイルの配信 (5 ページ)

Cisco Webex Control Hub でのクライアントの一括設定

制御ハブでは、CSV ファイルを使用して最大2万の Jabber のユーザを設定できます。CSV ファイルにユーザ情報を追加する場合は、ユーザにサービスを割り当てることもできます。

手順

ステップ 1 <https://admin.webex.com> のカスタマー ビューから、**ユーザ**に移動し、**ユーザの管理** をクリックして、**CSVのユーザの追加または変更** を選択します。

ユーザにウェルカムメールを送信することについてのメッセージが表示される場合があります。[次へ (Next)] をクリックして続行するか、キャンセルしてアカウントの設定を変更します。

ステップ 2 [エクスポート (Export)] をクリックして、ユーザのための現在の設定で CSV ファイルをダウンロードします。現在の**ユーザ情報**を使用せずにテンプレートをダウンロードするには、[CSV テンプレートのダウンロード (CSV template)] をクリックします。

ダウンロードした CSV ファイルでは、既存の情報を更新したり、空の行に新しいユーザを追加したりすることができます。[利用可能 (available)] 列に次の情報を入力します。

- そのサービスの列で、サービス タイプ **[True]** を割り当て、サービス タイプ **[False]** を除外します。

- **[ユーザ ID/電子メール (必須)]:**—ユーザ情報を入力します。
- Jabber の展開では、CSV ファイルの次の列に、各ユーザの情報を入力します。
 - **Jabber チームメッセージモード**—チームメッセージングモードを Jabber ユーザに割り当てるために **True** を追加します。
 - **Jabber 通話**—Jabber の通話をユーザに割り当てるように **True** を追加します。
 - **UC マネージャプロファイル**—Cisco UC Manager プロファイル名を制御ハブから追加します。
 - **[連絡先の移行が必要]**—ユーザの連絡先を Webex Messenger から、または Cisco Unified Communications Manager IM & Presence サービスから Jabber の連絡先に移行するには、**True** を追加します。

(注) ContactMigrationCompleted はデフォルトでは **False** のままになっており、管理者は後で特定のユーザに対して連絡先の移行を実行できます。
 - **[プロファイルのアップグレード (Upgrade Profile)]**—作成時にプロファイル名を追加します。この設定は、モバイルクライアントには適用されません。
- アクティブなライセンステンプレートがある場合は、すべてのサービス列を空白のままにします。制御ハブは、その行内に新しいユーザのテンプレートを自動的に割り当てます。

ステップ 3 インポートをクリックしてファイルを選択し、**開く**をクリックします。

ステップ 4 **サービスのみを追加** または **サービスの追加と削除**のいずれかを選択します。

有効なライセンステンプレートがある場合は、**サービスのみを追加**を選択します。

ステップ 5 [送信] をクリックします。

CSV ファイルを送信すると、これがアップロードされ、タスクが作成されます。ブラウザまたはこのウィンドウを閉じて、タスクを継続して実行されます。タスクの進捗状況は確認できます。詳細については、「[Cisco Webex Control Hub でタスクを管理する](#)」を参照してください。

チームメッセージングモードのユーザのコールのセットアップ

制御ハブのチームメッセージングモードで Jabber の呼び出しを設定できます。Cisco UC マネージャサーバの設定プロファイルを制御ハブで作成するか、または既存の導入オプションから選択することができます。Jabber クライアントは、これらの設定を使用して、コール機能のために Cisco UC Manager サーバに接続します。

手順

- ステップ 1 <https://admin.webex.com> のカスタマービューで、[サービス(Services)] に移動し、[メッセージ(Message)] の [設定(Settings)] をクリックしてから、**Jabber チームメッセージングモード** を有効化します。
- ステップ 2 [プロファイルの追加(Add Profile)] を、[UC マネージャのプロファイル(UC Manager Profiles)] で選択します。
- ステップ 3 プロファイル名を入力してから、次のいずれかのオプションを選択します。
 - [音声サービス ドメイン(Voice Services Domain)]—ご利用の音声サービスのドメインを入力します。
 - [サーバ(UDS Server)]—UDS サーバとバックアップ UDS サーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
 - (オプション)—ユーザがサーバアドレスを編集できるようにして、ユーザが Jabber クライアントのサーバ設定を変更できるようにします。
- ステップ 4 プロファイルを保存します。

チームメッセージングモードを使用して Jabber ユーザを有効にし、個々の Jabber の呼び出しを有効にする

一括インポートメソッドを使用する代わりに、制御ハブのチームメッセージングモード用の個々の Jabber ユーザを設定できます。

手順

- ステップ 1 <https://admin.webex.com> のカスタマービューから、**ユーザ** に移動します。
- ステップ 2 [サービス (Services)] セクションで、ユーザを選択し、[Cisco Webex Teams] を選択します。
- ステップ 3 次のいずれかのオプションを選択します。
 - **Jabber チームメッセージングモードの有効化**—Jabber にはチームメッセージングモードが割り当てられています。
 - **連絡先への移行が必要**—ユーザは、Webex Messenger または Cisco Unified Communications Manager IM & Presence サービスから Jabber に連絡先を移行するよう求められます。
 - **Jabber のコールを有効にする**—Jabber ユーザは Jabber の呼び出しに割り当てられます。
(ユーザ用の Cisco UC Manager プロファイルを選択できます。プロファイルを選択しない場合、Jabber は、services_domain、音声サービスドメイン、ユーザ名のドメイン、または

UPN ドメインを使用して、Cisco UC Manager に接続するよう DNS SRV レコードを照会します。

Cisco Webex Control Hub でアップグレード プロファイルを作成する

チーム メッセージング モードを使用した Jabber の展開では、Jabber のアップグレード パスを制御できます。組織全体の設定を適用することも、または個々のユーザーに割り当てるアップグレード プロファイルを作成することもできます。

アップグレード プロファイルを使用すると、デスクトップ ユーザを新しいバージョンにアップグレードする方法を制御できます。ユーザーは、最新バージョンのチーム メッセージング モードに自動的にアップグレードするか、特定のバージョンにのみアップグレードするかを設定できます。プロファイルは、モバイル クライアントには適用されません。

アップグレード プロファイルでバージョンを指定した場合、ユーザーは指定されたバージョン以降にバージョンにアップグレードされません。ただし、サポートされていない Jabber バージョンを指定するアップグレード プロファイルは無効です。この場合は、ユーザーが最新の Jabber バージョンにアップグレードされます。通常、Jabber は、1 年の Jabber チーム メッセージング モードのリリースをサポートしています。プロファイルを定期的に更新して、ユーザーがアップグレードする有効なバージョンを指定します。

手順

- ステップ 1 <https://admin.webex.com> のカスタマー ビューで、[サービス(Services)] をクリックし、[メッセージ(Message)] カードの [設定(Settings)] をクリックします。
- ステップ 2 Jabber チームメッセージモードで、[アップグレード プロファイルの追加 (Add Profile Profile)] を選択します。
- ステップ 3 プロファイルの名前を指定し、Jabber for Windows および Jabber for Mac ユーザーのアップグレード パスを指定します。
 - ユーザーを最新バージョンに自動的にアップグレードします。
 - クライアントを特定のバージョンにアップグレードします。
- ステップ 4 アップグレード プロファイルを保存します。
- ステップ 5 アップグレード プロファイルを適切なユーザーに関連付けます。

Cisco Webex Control Hub を使用した Jabber 構成ファイルの配信

IM 専用モードで Jabber チーム メッセージング モードを実行できます。このモードは、Cisco Unified Communications Manager とその呼び出し機能を必要としません。

Jabber 設定ファイルの展開サイトとして Unified CM を置き換えるために、Jabber 設定ファイルをコントロールハブにアップロードできます。組織ごとに1つの構成ファイルをアップロードできます。このファイルは .xml 形式である必要があります。必要に応じて、制御ハブの設定ファイルを削除することができます。

展開環境に Unified CM サーバが含まれていて、そこに設定ファイルが検出された場合は、Unified CM 設定ファイルが優先されます。

手順

-
- ステップ 1** <https://admin.webex.com> のカスタマー ビューで、[サービス(Services)] をクリックし、[メッセージ(Message)] カードの [設定(Settings)] をクリックします。
 - ステップ 2** [アップロード設定ファイル(Upload configuration file)] を選択して、Jabber の設定ファイルを選択します。
-

